

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人 暁学園

(2) 大学名

四日市看護医療大学

(3) 大学の位置

〒512-8045
三重県四日市市萱生町1200
(三重県四日市市萱生町238)

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	届出時	変更状況	備考
理事長	(ムネムラ ナンオ) 宗村 南男 (昭和53年5月26日)		
学長	(コウノ ケイコ) 河野 啓子 (平成19年4月1日)		
副学長	(マルヤマ ヤスヒト) 丸山 康人 (平成19年4月1日)		
研究科長	(スズキ アツコ) 鈴木 敦子 (平成23年4月1日)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。
(例) 平成21年度に報告済の内容 → (21)
平成24年度に報告する内容 → (24)
・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。

(5) 調査対象研究科等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部・学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください。
 ・ 様式は、平成22年度開設の博士後期課程の場合（平成24年度までの3年間）ですが、開設年度・修業年限に合わせて作成してください。（修業年限が2年以下の場合には欄を削除し、4年以上の場合には、欄を設けてください。）

(5) - ① 調査対象研究科等の名称、定員

調査対象研究科等の名称（学位）	設置時の計画			備考
	修業年限	入学定員	収容定員	
看護学研究科 看護学専攻	2年	10人	20人	基礎となる学部等 看護学部看護学科

- (注) ・ 「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
 ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前的人数、変更年月及び報告年度を（ ）書きで記入してください。

(5) - ② 調査対象研究科等の入学者の状況

区分	平成23年度		平成24年度		平均入学定員 超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	10 () []	人 () []	10 () []	人 () []	1.0倍	平成24年度入試にて、転入学試験を実施し、2年次転入学生1名あり。
志願者数	11 (11) []	() () []	15 (14) []	() () []		
受験者数	11 (11) []	() () []	15 (14) []	() () []		
合格者数	10 (10) []	() () []	10 (10) []	() () []		
B 入学者数	10 (10) []	() () []	10 (10) []	() () []		
入学定員超過率 B/A	1.0		1.0			

- (注) ・ 数字は、平成24年5月1日現在の数字を記入してください。
 ・ () 内には、社会人の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 「社会人」については、認可申請書において貴学が定める社会人の定義に従って記入してください。
 ・ [] 内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については、**各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出**してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点第2位まで記入してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお、計算の際は「**入学定員超過率**」と同様にしてください。

(5) - ③ 調査対象研究科等の在学者の状況

学 年	平成23年度		平成24年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[—] 10	[]	[—] 10	[]	
2年次	/		[—] 1	[]	
3年次	/		/		
計	[—] 10	[]	[—] 11	[]	

- (注) ・ 数字は、平成24年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成23年度 入学者	10 人	0 人	平成23年度	0 人	人		0 %
			平成24年度	0 人	人		0 %
平成24年度 入学者	11 人	0 人	平成24年度	人	人		0 %
合 計	21 人	0 人					0 %

(注)・ 数字は、平成24年5月1日現在の数字を記入してください。

- ・ 各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- ・ 各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- ・ 「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成24年度5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。
- ・ 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。
 (記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

2 授業科目の概要

<看護学研究科看護学専攻>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
共通科目	看護理論	1前	2			○			1						
	看護研究特論	1前	2			○			2						
	看護教育学特論	1前		2		○				1					
	コンサルテーション論	1後		2		○									
	看護管理学特論	1後		2		○									
	看護政策論	1後		1		○									
	看護倫理	1前	2			○			1						
	地域政策論	1前		1		○									
	在宅看護学特論	1後		2		○				1					
	リスクマネジメント特論	1後		1		○									
	人間関係特論	1前		2		○			1						
	国際看護学特論	1後		1		○									
	産業看護学序論	1前		2		○			1						
小計(13科目)		-	6	16	0				6	2	0	0	0		
産業看護学領域	産業看護学特論Ⅰ(産業看護概論)	1前		2		○			1	1					
	産業看護学特論Ⅱ(労働経済序論)	1後		2		○			1	1					
	産業看護学演習Ⅰ(産業保健基礎科学)	1前		2			○		1	1					
	産業看護学演習Ⅱ(産業看護技術論)	1後		2			○		1	1					
	産業精神看護学特論Ⅰ(産業・精神保健)	1前		2		○			1	1					
	産業精神看護学特論Ⅱ(援助論)	1後		2		○			1	1					
	産業精神看護学演習Ⅰ(アセスメント)	1前		2			○		1	1					
	産業精神看護学演習Ⅱ(看護介入)	1後		2			○		1	1					
小計(8科目)		-	0	16	0				2	2	0	0	0		
実践看護学領域	母子支援看護学特論Ⅰ(子どもと家族の発達理論)	1前		2		○			1						
	母子支援看護学特論Ⅱ(ヘルスアセスメント・支援論)	1前		2		○			4 3						
	母子支援看護学特論Ⅲ(養育不全と家族支援論)	1後		2		○			2						
	母子支援看護学特論Ⅳ(母子保健・福祉)	1後		2		○			3 2					履修希望者がいなかったため(23)	
	母子支援看護学演習Ⅰ(支援技術論)	1前		2			○		4 3	3				履修希望者がいなかったため(23)	
	母子支援看護学演習Ⅱ(研究方法)	1後		2			○		4 3	3					
	母子支援看護学実習	2前		6				○	2	1					
	急性看護学特論Ⅰ(危機理論)	1前		2		○			1	1					
	急性看護学特論Ⅱ(フィジカルアセスメント)	1前		2		○			1	1					
	急性看護学特論Ⅲ(代謝病態生理と治療管理)	1後		2		○			1	1					
	急性看護学特論Ⅳ(援助関係論・家族援助論)	1後		2		○			1	1					
	急性看護学演習Ⅰ(看護援助論・倫理的調整)	1前		2			○		1	1					
	急性看護学演習Ⅱ(安楽・緩和ケア援助論)	1後		2			○		1	1					
	急性看護学実習	2前		6				○	1	1					
	慢性看護学特論Ⅰ(総合的理解)	1前		2		○			1						
	慢性看護学特論Ⅱ(心理・行動的理解)	1前		2		○			1						
	慢性看護学特論Ⅲ(体制や制度)	1後		2		○			1						
	慢性看護学特論Ⅳ(環境調整整備)	1後		2		○			1						
	慢性看護学演習Ⅰ(慢性病の人のアセスメント)	1前		2			○		1	1				履修希望者がいなかったため(23)	
	慢性看護学演習Ⅱ(支援技術)	1後		2			○		1	1				履修希望者がいなかったため(23)	
慢性看護学実習	2前		6				○	1	1						
老年看護学特論Ⅰ(老年看護学の専門性)	1前		2		○			1							
老年看護学特論Ⅱ(老年看護学の実践)	1後		2		○			1							
老年看護学演習Ⅰ(高齢者への看護介入)	1前		2			○		1							
老年看護学演習Ⅱ(老年看護学の研究法)	1後		2			○		1							
小計(25科目)		-	0	62	0				7 6	5	0	0	0		
基礎看護学領域	基礎看護学特論Ⅰ(看護実践学の特質・看護の本質・対象)	1前		2		○			1						
	基礎看護学特論Ⅱ(看護の諸活動と専門性、看護技術教育)	1後		2		○			1						
	基礎看護学演習Ⅰ(看護の特質に関する文献検討)	1前		2			○		1	1					
	基礎看護学演習Ⅱ(看護の諸活動・看護技術教育に関する文献検討)	1後		2			○		1	1					
小計(4科目)		-	0	8	0				1	1	0	0	0		
課題研究		2通		2					3						
特別研究		2通		6					12 -11	8					
小計(2科目)		-	0	8	0				12 -11	8	0	0	0		
合計(52科目)		-	6	110	0				12 -11	10	0	0	0		

- (注) ・ 認可申請書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 設置認可時の授業科目全て(兼任、兼担教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成23年度に認可された大学等は設置認可時)より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
 - ・ なお、昨年度の報告書において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。)
 - ・ 「配当年次」について、設置認可申請時に開講時期を記入する必要がなかった学部等(平成19年度認可以前)についても、設置認可時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

認可時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目 3	科目 49	科目	科目 52	科目 []	科目 []	科目 []	科目 []	変更なし

- (注) ・ 未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する(資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。)とともに、[]内に、設置認可時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由，代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 設置認可時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず，何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお，理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については，記入しないでください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由，代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 設置認可時の計画にあり，何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお，理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「認可時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

未開講科目と廃止科目の計	0	=	0
認可時の計画の授業科目数の計	52		

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て，小数点第2位までを記入してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考		
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	運動場用地のうち 24,000㎡は四日市大学 と共用 借用面積25,093.98 ㎡、借用期間12年		
	校舎敷地	15,468㎡	0㎡	35,503㎡	50,971㎡			
	運動場用地	0㎡	24,000㎡	13,826.88㎡	37,826.88㎡			
	小 計	15,468㎡	24,000㎡	49,329.88㎡	88,797.88㎡			
	そ の 他	0㎡	0㎡	49,570.1㎡	49,570.1㎡			
	合 計	15,468㎡	24,000㎡	98,899.98㎡	138,367.98㎡			
(2) 校 舎	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	食堂、体育館、クラブ ハウスは四日市大学と 共用			
	11,236.35㎡ (11,236.35㎡)	4,393.12㎡ (4,393.12㎡)	16,214.28㎡ (16,214.28㎡)	31,843.75㎡ (31,843.75㎡)				
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	大学全体での共用		
	15室	14室	4室	2室 (補助職員 1人)	1室 (補助職員 1人)			
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称		室 数			大学全体での共用		
	看護学研究科		56 室					
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の 名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	大学全体での共用
	看護学研究科	11,847 [1,887] (11,217[1,717])	105[23] (101[22])	5[4] (5[4])	309 (309)	4425 (4208)	55 (55)	
	計	11,847[1,887] (11,217[1,717])	105[23] (101[22])	5[4] (5[4])	309 (309)	4425 (4208)	55 (55)	
(6) 図 書 館	面 積	閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数			大学全体(体育館は四日 市大学と共用)	
	886㎡	80		100,000冊				
(7) 体 育 館	面 積	体 育 館 以 外 の ス ポ ー ツ 施 設 の 概 要						大学全体(体育館は四日 市大学と共用)
	2,576㎡	該 当 な し						
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	大学全体(体育館は四日 市大学と共用)
	教員1人当り研究費等	480千円	480千円	図書購入費	3,000千円	500千円	500千円	
	共同研究費等	1,000千円	1,000千円	設備購入費	7,184千円	千円	千円	
	学生1人当り 納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	
	1,100千円	900千円	千円	千円	千円	千円	千円	
学生納付金以外の維持方法の概要		手数料収入、資産運用収入等を充当する。						

- (注) ・ 設置認可時の計画を、認可申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成23年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(23)」を「備考」に赤字で記入してください。
 なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。